

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	坂東市家庭教育支援チーム (呼称:スパンキーキッズ)
②活動拠点	坂東市 猿島公民館
③活動範囲	坂東市全域
④組織体制	<u>3</u> 人 会長1人、副会長1人、会計1人
⑤活動開始年度	平成8年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 坂東市こども課 (TEL)0297-21-2191(直通) (E-mail)kodomo@city.bando.ibaraki.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☐ 小学生(中学年) ☐ 小学生(高学年) ☐ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 月に4回(平日不定期2日、土曜日2回)活動日を設けている。 ・年4回の誕生会、育児用品交換会 ・季節ごとのイベントを開催 春:お花見、こいのぼりづくり 夏:七夕、プール、水遊び 秋:ハロウィン 冬:クリスマス会、節分、ひな祭り、お別れ会 等 その他、バーベキュー、遠足などの行事を企画運営している。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	子育てに不安を抱く親が集まり、相談できる仲間ができることが最大の魅力です。口コミサイトにはない地域の保育園や病院などの情報交換ができることも一つの利点かと思います。 子供たちは保育園や学校以外で友だちに会える喜びがあり、お母さんたちには、日頃の育児の悩み等を相談できる場となっています。また、活動内容も工夫し、楽しむ行事以外にも、地元消防署による心肺蘇生法などを含めた救命講習を行います。 課題としては、メンバーがなかなか増えないことがあげられます。少子化が進む中、様々な場で案内を掲示してはいるものの、目に入らないこともあるのかもしれませんが。今後は市の広報や公式SNS等で取り上げてもらい、より積極的な広報活動を行っていきたいと思います。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☒ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☒ その他の支援により活動を実施 (坂東市補助金)